



待機児童数の正確な把握を

希望をしても認可保育施設に入れない子ども「待機児童」は、子育て世代にとって最も大きな課題の1つです。厚生労働省の調査では、全国の待機児童数は2万6081人、保育施設に申し込みをしても入れなかった子ども全体では9万5305人もいます。

上尾市の待機児童数は昨年度24名で、県内で中程度の水準に留まっています。しかし、ここに含まれない「隠れ待機児童」と呼ばれる子どもがいることを忘れてはいけません。たとえば、来年度より待機児童の定義が変更され、保護者が育児休業中の子どもが待機児童に含まれることになりました。これに伴い上尾市でも待機児童数が増えると予測されています。

上尾市ではこの隠れ待機児童がどれだけいるか調査を十分にしていません。私は、待機児童数が正確に把握されていないことは主に3つの観点で問題であると考えています。

まず保護者にとっては、待機児童数が少なくカウントされることが仕事への復帰のプランなどを立てるうえで大きな障害となります。次に行政の側としても、全体の一部のみを対象としていては最適な制度設計ができません。さらに、民間事業者にとっても待機児童数が少なくカウントされることで参入意欲が下がり、本来であればつくられる保育所がつくられないことが考えられます。

私は、このように様々な問題を生む待機児童数の把握不足の問題について、市に取り組みを求めて行きます。



キーワード

隠れ待機児童

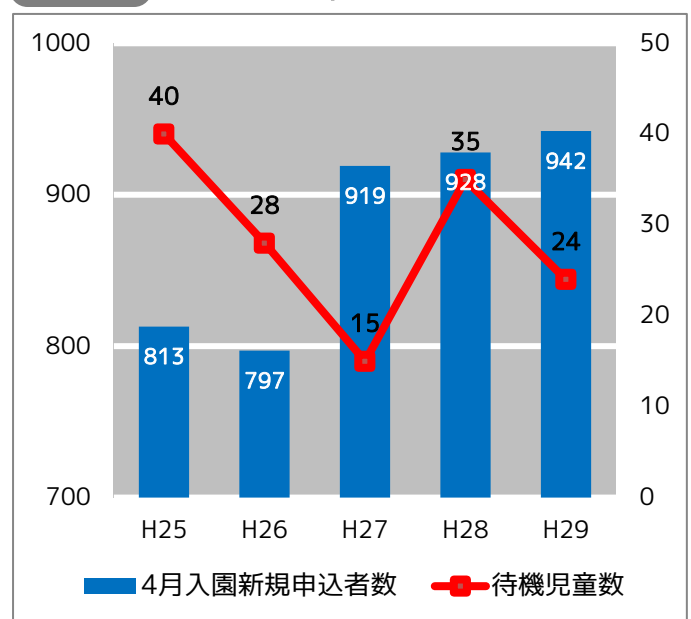
①保護者が育児休業中、②保護者が求職活動を休止、③自治体が独自に助成する保育施設を利用、④特定の保育所のみを希望した場合、待機児童にカウントしないことができる。

例えば、上尾市で④に当てはまる子どもは昨年度41人いるが、待機児童には入っていない。



データでみる

上尾市の待機児童数





Point

待機児童解消のための取り組み

待機児童の解消のために、全国でさまざまな取り組みが為されています。他の自治体で成果を挙げている取り組みを参考にしながら、上尾市においては待機児童をゼロにするためにどのような施策が有効かを考えなければなりません。

1

待機児童園の設置

静岡市では、育児休業明けなど、年度途中で保育所への入所を希望しても空きがないため入所できない場合、保育所に入所できるまでの間子どもを預かる「待機児童園」を設置しています。これにより待機児童数の増減への柔軟な対応が可能となります。



2

送迎保育ステーション

駅前に「送迎保育ステーション」を設け、そこから各保育所にバスで送迎することによって、保護者の負担を減らすとともに地域にこだわらずに子どもを預けることができる体制を整えることで、新たな保育所の設置意欲の向上にもつながります。



活
動
報
告



2017年12月19日 新任議員説明会

17日の上尾市議補欠選挙で市議会議員として働く機会をいただき身の引き締まる思いです。当選翌々日には新しい議員を対象として説明会があり、上尾市が現在進めている政策や財政状況について担当の職員の方々から説明を受けました。

●皆さまのご意見を聞かせてください●



メール
ebihara116@gmail.com



フェイスブック
<https://www.facebook.com/naoya.ebihara>

■えびはら直矢プロフィール■

昭和62年12月3日生まれ。

- 上智大学法学部卒
 - 首都大学東京社会人類学教室修了。
- 国連 UNHCR 協会職員などを経て、大島敦衆議院議員公設第一秘書を務める。

大学在学中に市民団体を設立し、現在子どもたちの放課後を考える団体や演劇教育を推進する団体など4つの団体の運営に携わっている。

家族：妻、長男（2才）、長女（1才）